

23 香南財発第162号
平成23年9月5日

四国財務局高知財務事務所長 殿

香南市長 仙頭義寛

財政健全化計画等執行状況報告書

以下の財政健全化計画等の執行状況について、別紙のとおり報告します。

- 財政健全化計画

- 公営企業経営健全化計画
 - 上水道事業
 - 上水道事業（簡易水道事業）
 - 工業用水道事業
 - 都市高速鉄道事業
 - 下水道事業
 - 病院事業

担当課：財政課

職名及び氏名：主査 堀川 里望

連絡先：0887-57-8502

財政健全化計画等執行状況報告書

1. 基本的事項

団体名	香南市	会計名	普通会計
承認年度	平成19年度		

2. 判定結果

項目	計画最終年度(又は改善額合計)			計画前年度実績(又は補償金免除額)		類型
	目標値	実績見込値	乖離値	実績値	乖離値	
① 地方債現在高	18764.0	17181.0	1,583.0	26398.0	9,217.0	a
② 実質公債費比率	20.7	15.5	5.2	17.5	2.0	a
③ 職員数	389.0	382.0	7.0	401.0	19.0	a
④ 改善額	216.0	193.0	▲ 23.0	129.0	64.0	d
⑤ 公営企業債現在高						
⑥ 累積欠損金比率						
					総合判定	d

3. その他

(i) 計画及び前年度執行状況の公表状況

計画:平成20年8月 公表 HP 広報紙・その他【 】)
 執行状況:平成23年9月 公表 HP 広報紙・その他【 】)

(ii) 計画及び前年度執行状況の議会への説明

計画:平成20年3月 説明
 執行状況:平成23年12月 説明予定

(iii) 平成23年度提出予定の旧資金運用部資金の補償金免除繰上償還に係る財政健全化計画等

- 財政健全化計画
- 公営企業経営健全化計画
- 水道事業 ()
 - 工業用水道事業
 - 都市高速鉄道事業
 - 下水道事業 ()
 - 病院事業
 - 介護サービス事業
- 提出予定なし

団体名	香南市
会計名	普通会計

類型	a
----	---

① 地方債現在高

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	25,356	24,263	22,589	20,359	18,764	26,398
実績(見込)値(B)	24,864	22,926	21,161	19,795	17,181	
乖離値(C) (A-B)	492	1,337	1,428	564	1,583	9,217
乖離率(D) (C/A)	1.9%	5.5%	6.3%	2.8%	8.4%	34.9%

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for (iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for (iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for (v)改善方針の進捗状況

団体名	香南市
会計名	普通会計

② 実質公債費比率

類型	a
----	---

(i) 推移表

(単位: %)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)	17.9	19.7	21.1	21.2	20.7	17.5
実績(見込)値(B)	17.9	19.5	19.9	18.4	15.5	
乖離値(C) (A-B)	0.0	0.2	1.2	2.8	5.2	2.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	1.0%	5.7%	13.2%	25.1%	11.4%

(ii) 要因分析

(単位: 百万円、%)

係数項目	平成21年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成22年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	

係数項目	平成23年度				やむを得ない事情	採用係数
	計画目標値(A)	実績見込値(B)	乖離値(A-B)	乖離要因		
地方債の元利償還金						
準元利償還金						
地方債の元利償還金又は準元利償還金に充てられる特定財源						
普通地方交付税の額の基準財政需要額に算入された地方債の元利償還金						
標準財政規模						
単年度実質公債費比率					単年度再算定比率	
実質公債費比率					再算定比率	

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

(v)改善方針の進捗状況

団体名	香南市
会計名	普通会計

③ 職員数

類型	a
----	---

(i) 推移表

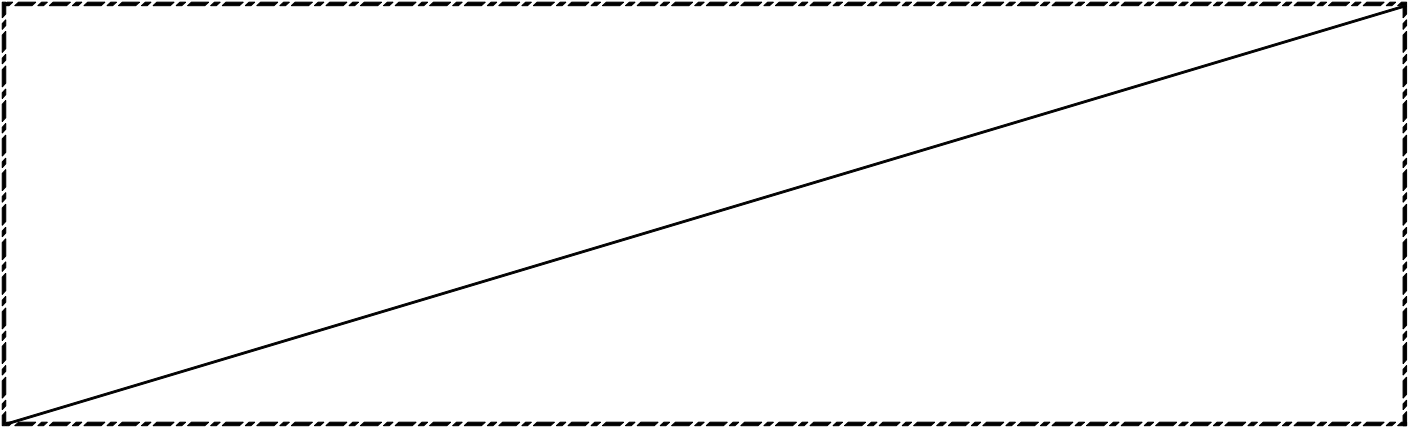
(単位:名)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	平成21年度 計画目標値
計画目標値(A)	411	406	401	394	389	401
実績(見込)値(B)	411	405	395	390	382	
乖離値(C) (A-B)	0.0	1.0	6.0	4.0	7.0	19.0
乖離率(D) (C/A)	0.0%	0.2%	1.5%	1.0%	1.8%	4.7%

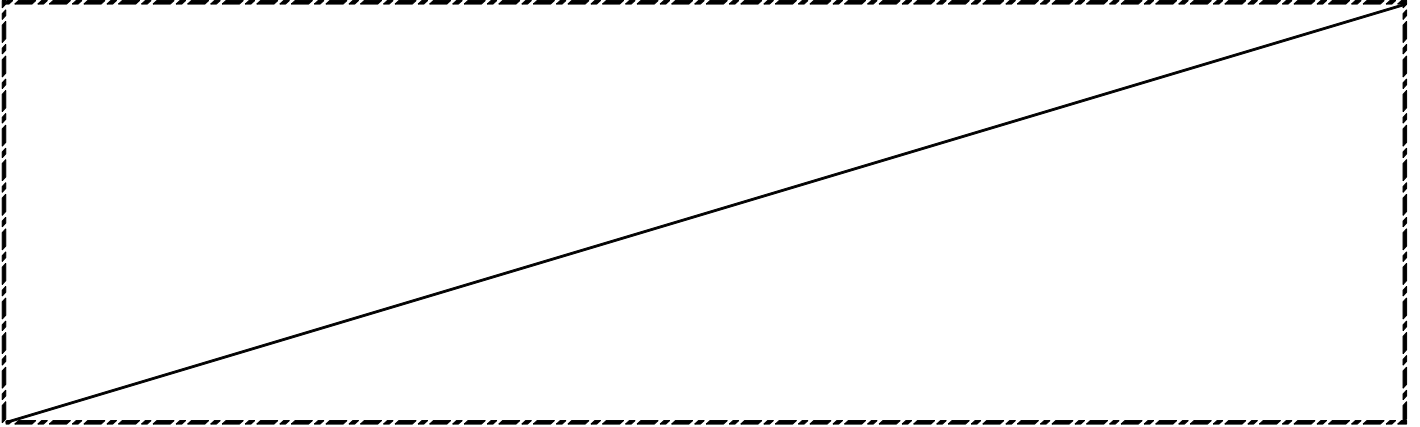
(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響人数(単位:名)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

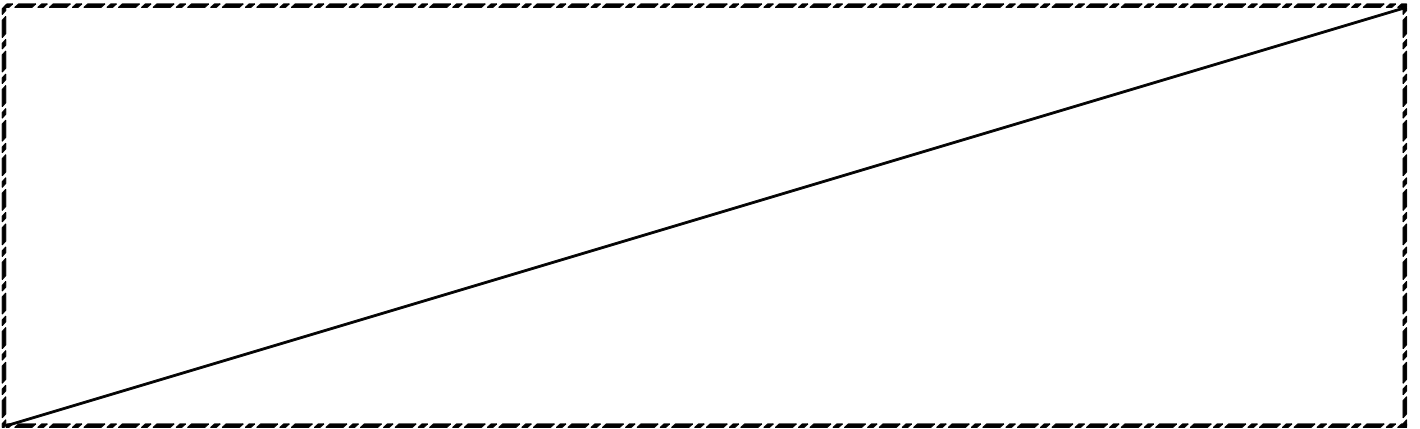
(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項



(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し



(v)改善方針の進捗状況



(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

平成19年度計画目標値は、人件費の改善額を115百万円見込んでおりましたが、議員報酬等で22百万、特別職報酬6百万、委員等報酬30百万円(選挙執行費7百万、統計調査1百万、農業委員報酬1百万、嘱託員21百万)、共済組合負担金の変更に伴い20百万がそれぞれ増加したことにより目標改善額の乖離値Cが△67百万円、乖離率が△58.3%となりました。

計画目標値に届かなかった理由は、議員報酬、委員等報酬及び特別職報酬を平成18年度決算額と同額で見込んでいましたが、平成18年度は合併に伴い議員及び特別職が11ヶ月しか在職しておらず、12ヶ月在職した平成19年度決算において見込み誤りとなったことによります。また、委員等報酬は、臨時職員について見直しを行い嘱託職員に雇用形態を変更したことによります。

職員給については、市の定員管理計画に基づく退職者不補充(退職者3名に対し1名の採用)により職員数が7名減(H18年度418人→H19年度411人)となったことにより10百万円の減額となっています。

平成22年度が計画目標値に届かなかった理由については、平成21年度末の退職予定者が平成20年度末に退職したことによるものです。

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

職員数の削減については、市の定員管理計画により確実に実行されおり、計画期間内に36名の削減となる見込みです。それに伴う改善額につきましては補償金免除額129百万円を上回る193百万円を改善する見通しです。

(v)改善方針の進捗状況

改善方針として、行政評価制度を導入し適切な事務事業評価を行うことにより行財政改革の推進を図ること及び定員管理計画による職員数の削減に取り組むことを掲げています。

行政評価制度の導入は、平成21年度にシステム構築を行い、平成22年度に試行し、平成23年度から本格的に運用する予定です。

定員管理計画による職員数の削減は、改善方針の期間である平成20年度から平成23年度の4年間で22名の削減計画に対し、29名の削減が見込まれており着実に達成されております。

団体名	香南市
会計名	普通会計

⑤ 公営企業債現在高

類型	
----	--

(i) 推移表

(単位:百万円)

	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	計画最終年度 (平成23年度)	計画前年度 (平成18年度)
計画目標値(A)						
実績(見込)値(B)						
乖離値(C) (A-B)						
乖離率(D) (C/A)						

(ii) 要因分析

計画最終年度における 未達成の要因	影響額(単位:百万円)					備考	やむを得ない 事情
	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度		
合計	-	-	-	-	-		

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

Empty dashed box for item (iii).

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

Empty dashed box for item (iv).

(v)改善方針の進捗状況

Empty dashed box for item (v).

(iii)実績(見込)値が計画目標値に届かない理由及びやむを得ない事情についての検討事項

--

(iv)改善に向けた取組及び今後の見通し

--

(v)改善方針の進捗状況

--